

## 1. 活動報告

## 1) 総合科目 (16年6月)

▽春学期 AB 月曜 1 時限

第7回 6月6日

講義題目『品種改良の実際』

講義担当者：吉岡洋輔 (生命環境系)

第8回 6月13日

講義題目『コミュニケーションする脳』

講義担当者：川崎真弘 (システム情報系)

第9回 6月20日

講義題目『生物の環境応答』

講義担当者：櫻井啓輔 (生命環境系)

第10回 6月27日

講義題目『フォローアップセミナー』

講義担当者：山下祐司ほか (生命環境系)

## 2) 外部資金獲得状況 (16年6月)

Marcos Neves (分担者)

<平成28年度つくば産学連携強化プロジェクトつくば産学連携強化プロジェクト (筑波大学・産業技術総合研究所合わせ技ファンド) >

「多様な食品の消化特性を評価できる胃消化シミュレーターの開発」100万円 (H28年度)

辻本学 (代表者)

<平成28年度つくば産学連携強化プロジェクト (筑波大学・産業技術総合研究所合わせ技ファンド) >

「高温超伝導体を使ったコヒーレントテラヘルツ光源の小型パッケージ化」200万円 (H28年度)

## 3) 受賞 (16年6月)

辻本学

公益社団法人低温工学・超電導学会 【国際交流若手賞】  
2016年6月15日

## 4) 業績 (16年6月)

## &lt;原著論文&gt;

Kei Ikehata and Teruyuki Maruoka

“Sulfur isotopic characteristics of volcanic products from the September 2014 Mount Ontake eruption, Japan” *Earth, Planets and Space* (Accepted)

Impact Factor : 1.871

Bueno C, Sardina JL, Di Stefano B, Romero-Moya D, Muñoz-López A, Ariza L, Chillón MC, Balanzategui A, Castaño J, Herreros A, Fraga MF, Fernández A, Granada I, Quintana-Bustamante O, Segovia JC, Nishimura K, Ohtaka M, Nakanishi M, Graf T, Menendez P

“Reprogramming human B cells into induced pluripotent stem cells and its enhancement by C/EBP $\alpha$ ”

*Leukemia*, Vol. 30(3), 674-682, 2016, doi: 10.1038/leu.2015.294.  
IF=12.104

Banno K, Omori S, Hirata K, Nawa N, Nakagawa N, Nishimura K, Ohtaka M, Nakanishi M, Sakuma T, Yamamoto T, Toki T, Ito E, Yamamoto T, Kokubu C, Takeda J, Taniguchi H, Arahori H, Wada K, Kitabatake Y, Ozono K

“Systematic Cellular Disease Models Reveal Synergistic Interaction of Trisomy 21 and GATA1 Mutations in Hematopoietic Abnormalities”

*Cell Reports*, Vol. 15(6), 1228-1241, 2016, doi: 10.1016/j.celrep.2016.04.031  
IF=7.870

Suzuki-Kemuriyama N, Matsuzaka T, Kuba M, Ohno H, Han SI, Takeuchi Y, Isaka M, Kobayashi K, Iwasaki H, Yatoh S, Suzuki H, Miyajima K, Nakae D, Yahagi N, Nakagawa Y, Sone H, Yamada N, Shimano H.

“Different Effects of Eicosapentaenoic and Docosahexaenoic Acids on Atherogenic High-Fat Diet-Induced Non-Alcoholic Fatty Liver Disease in Mice”

*PLoS One*, 11(6) : e0157580 (2016)  
IF=3.057

## &lt;総説等&gt;

池端慶、高野友希

『青ヶ島の噴気帯の現地調査結果 (平成28年4月19日～21日)』、  
第135回火山噴火予知連絡会資料、8、83-87 (2016)

石川香、中田和人

“ミトコンドリア病と遺伝子治療”

*HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY*, メディカルレビュー社, Vol. 23, No. 2, 47-53 (2016)

## &lt;学会発表・招待講演&gt;

戸塚修平・石橋純一郎・島田和彦・野崎達生・池端慶

2016 年度資源地質学会年会

演題：『伊平屋小海嶺野甫サイトの掘削コアを含む熱水性鉱石試料の鉱物学的特徴』（ポスター発表）

日時：2016 年 6 月 24 日

場所：東京大学（東京都文京区）

**松坂 賢、島野 仁**

第 1 回食欲・食嗜好の分子・神経基盤研究会

演題：『脂肪酸伸長酵素 Elovl6 におけるショ糖嗜好性亢進』（口頭発表）（英語）

日時：2016 年 6 月 17 日

場所：岡崎カンファレンスセンター（愛知）

**Goro Ishiki,**

International workshop Aspects of Membrane Dynamics

演題：『Matrix geometry and Kahler structure』（招待講演）

日時：2016 年 6 月 13 日－17 日

場所：NORDITA (Stockholm)

## 2. スケジュール

<16 年 7 月>

7 日（木）

テニュアトラック普及・定着事業推進委員会及び定例会  
（メール会議）

## 3. 事務連絡

### ○ 人事

7 月 1 日付でテニュアトラック事務局に異動がありました。

総務部人事課主幹 鈴木 寛之

（前職：生命環境エリア支援室総務係長）



生命環境エリア支援室総務係長 中川 一弘

（前職：総務部人事課人件費分析係長）

## 4. 若手イニシアティブレポート

文部科学省科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」次代を担う若手大学人育成イニシアティブ（平成 19 年度～平成 23 年度）プログラムでテニュアを獲得した三浦謙治准教授が、6 月 1 日付で生命環境系・教授に昇任されました。

-----  
テニュアトラック普及・定着事業 *News Letter* vol 54

[平成 28 年 7 月号]

編集・発行：若手研究者運営調整部会

\*当ニュース・レターは、毎月 1 回第 1 木曜日に配信いたします。

連絡先：テニュアトラック支援室